

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月1日

【四半期会計期間】 第15期第2四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 株式会社バンク・オブ・イノベーション

【英訳名】 Bank of Innovation, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 樋口 智裕

【本店の所在の場所】 東京都新宿区新宿六丁目27番30号

【電話番号】 03-4500-2899

【事務連絡者氏名】 取締役CFO経営管理部長 河内 三佳

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区新宿六丁目27番30号

【電話番号】 03-4500-2899

【事務連絡者氏名】 取締役CFO経営管理部長 河内 三佳

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第2四半期 連結累計期間
会計期間		自 2019年10月1日 至 2020年3月31日
売上高	(千円)	1,649,257
経常利益	(千円)	57,947
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(千円)	28,594
四半期包括利益	(千円)	28,594
純資産額	(千円)	1,360,138
総資産額	(千円)	2,769,805
1株当たり四半期純利益	(円)	7.37
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	(円)	7.35
自己資本比率	(%)	49.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	92,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	3,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	321,443
現金及び現金同等物の 四半期末残高	(千円)	1,718,365

回次		第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
1株当たり四半期純利益	(円)	1.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の主要な経営指標等については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社バンク・オブ・インキュベーションを新たに設立し、同社を連結の範囲に含めております。それに伴い、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による事業への影響等に関しましては、今後の状況推移を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税後の消費者マインドの落ち込みや注視すべき国際情勢に加え、新型コロナウイルス感染拡大が経済に与える影響などにより、先行きの厳しい状況が続くと見込まれております。

当社グループの事業領域であるスマートフォンアプリのゲームを取り巻く環境においては、2019年の国内モバイルゲーム市場規模は前年比1.0%増の1兆3,251億円と安定した推移が続いております（参考：KADOKAWA Game Linkage「ファミ通モバイルゲーム白書2020」）。

このような事業環境のもと、当社は「幻獣契約クリプトラクト」及び「ミトラスフィア」の周年キャンペーンや季節イベント等を実施するとともに、新作の開発及び海外に向けたIP展開に取り組んでまいりました。また、子会社においても、スマートフォンゲーム以外の新規サービスの提供を目指し、日々開発に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,649,257千円、営業利益は63,272千円、経常利益は57,947千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は28,594千円となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,769,805千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,974,569千円、売掛金が541,161千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,409,666千円となりました。主な内訳は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が863,239千円、未払金が259,197千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,360,138千円となりました。主な内訳は、資本金が490,943千円、資本剰余金が468,383千円、利益剰余金が594,747千円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,718,365千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は92,561千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上57,947千円、売上債権の増加額55,773千円、未払金の増加額6,533千円、前受金の増加額12,723千円及び法人税等の支払額125,809千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は3,537千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,536千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は321,443千円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出248,890千円、自己株式の取得による支出93,955千円、ストックオプションの行使による収入21,402千円によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、215,681千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,000,000
計	14,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,951,000	3,951,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株であります。
計	3,951,000	3,951,000		

(注) 提出日現在発行数には、この四半期報告書提出日に新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日 (注)	4,000	3,951,000	2,076	490,943	2,076	468,383

(注) ストック・オプションの権利行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

2020年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合(%)
樋口 智裕	東京都新宿区	1,728,400	45.10
田中 大介	東京都新宿区	300,000	7.82
株式会社Cygames	東京都渋谷区南平台町16 - 17	150,000	3.91
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行)	2 KING EDWARD STREET, LONDON EC1A 1HQ UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1 決済事業 部)	92,467	2.41
CREDIT SUISSE AG, SINGAPORE BRANCH - FIRM EQUIY (POETS) (常任代理人 クレディ・スイス 証券株式会社)	1 RAFFLES LINK, #03/#04-01 SOUTH LOBBY, SINGAPORE 039393 (東京都港区六本木1 - 6 - 1 泉ガーデンタ ワー)	78,200	2.04
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行)	ONE CHURCHILL PLACE, LONDON, E14 5HP UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1 決済事業 部)	45,400	1.18
JPE第1号株式会社	東京都千代田区霞が関3 - 2 - 1	39,200	1.02
河内 三佳	東京都新宿区	31,700	0.82
楽天証券株式会社	東京都世田谷区玉川1 - 14 - 1	28,000	0.73
宮住 裕二	千葉県流山市	24,000	0.62
計		2,517,367	65.68

(注) 1. 上記のほか、当社所有の自己株式118,635株があります。

2. 2020年3月6日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、クレディ・スイス証券株式会社及びその共同保有者2名が2020年2月28日現在で以下のとおり株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないことから、株主名簿上の所有株式数を上記大株主の状況に記載しております。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
クレディ・スイス証券株式会社	東京都港区六本木1 - 6 - 1 泉ガーデン タワー	21,900	0.55
クレディ・スイス・セキュリ ティーズ(ヨーロッパ) リミテッ ド	英国 ロンドンE14 4QJ、ワン・カボッ ト・スクウェア	0	0.00
クレディ・スイス・エイ・ジー	スイス国チューリッヒ、8001、パラデブ ラツツ8番地	33,400	0.85

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 118,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,831,500	38,315	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	3,951,000		
総株主の議決権		38,315	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式35株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社バンク・オブ・イノベーション	東京都新宿区新宿六丁目27番30号	118,600		118,600	3.00
計		118,600		118,600	3.00

(注) 当社は、上記のほか単元未満株式35株を保有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、当社は第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、比較情報を記載しておりません。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2020年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,974,569
売掛金	541,161
その他	68,747
流動資産合計	2,584,478
固定資産	
有形固定資産	11,666
無形固定資産	1,179
投資その他の資産	172,480
固定資産合計	185,326
資産合計	2,769,805
負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	461,440
未払金	259,197
未払法人税等	41,905
その他	245,324
流動負債合計	1,007,867
固定負債	
長期借入金	401,799
固定負債合計	401,799
負債合計	1,409,666
純資産の部	
株主資本	
資本金	490,943
資本剰余金	468,383
利益剰余金	594,747
自己株式	193,935
株主資本合計	1,360,138
純資産合計	1,360,138
負債純資産合計	2,769,805

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年10月1日
至 2020年3月31日)

売上高	1,649,257
売上原価	1,253,320
売上総利益	395,937
販売費及び一般管理費	1 332,664
営業利益	63,272
営業外収益	
受取利息	29
物品売却益	4
その他	0
営業外収益合計	33
営業外費用	
支払利息	3,869
支払手数料	1,488
営業外費用合計	5,358
経常利益	57,947
税金等調整前四半期純利益	57,947
法人税等	29,353
四半期純利益	28,594
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,594

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年10月1日
至 2020年3月31日)

四半期純利益	28,594
四半期包括利益	28,594
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	28,594

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年10月1日
至 2020年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	57,947
減価償却費	4,104
受取利息	29
支払利息	3,869
売上債権の増減額(は増加)	55,773
未払金の増減額(は減少)	6,533
未払費用の増減額(は減少)	1,221
未払消費税等の増減額(は減少)	3,986
前受金の増減額(は減少)	12,723
その他	12,828
小計	36,996
利息の受取額	29
利息の支払額	3,777
法人税等の支払額	125,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1,000
有形固定資産の取得による支出	2,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	300,000
短期借入金の返済による支出	300,000
長期借入金の返済による支出	248,890
自己株式の取得による支出	93,955
ストックオプションの行使による収入	21,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	321,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	417,542
現金及び現金同等物の期首残高	2,135,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,718,365

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社バンク・オブ・インキュベーションを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社バンク・オブ・インキュベーション

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法によります。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 2～3年

工具、器具及び備品 5年

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクを負わない取得日から3カ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(3) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
広告宣伝費	192,710千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目との金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金	1,974,569千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	256,204 "
現金及び現金同等物	1,718,365千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来より「スマートフォンゲーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、株式会社バンク・オブ・イノベーションが連結子会社になったことに伴い、「スマートフォンアプリ関連事業」の単一セグメントに変更しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	7円37銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	28,594
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	28,594
普通株式の期中平均株式数(株)	3,881,210
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	7円35銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	9,116
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月1日

株式会社バンク・オブ・イノベーション
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 井 宏 明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 竹 美 江 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社バンク・オブ・イノベーションの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社バンク・オブ・イノベーション及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。